

2025年4月8日

新宿区長宛て

団体名 特定非営利活動法人 臨床検査支援協会

所在地 東京都中野区中央1-44-6
ステージ中野坂上100号

(フリガナ) ミヤザワ ユキヒサ
代表者氏名 宮澤 幸久

新宿区協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第5条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 金 186,000円

申請事業の分野 (該当の分野1つだけに○をしてください。なお、活動分野が複数の場合は、主要な分野に○をしてください。)		
<input type="radio"/> 保健・医療・福祉	災害救援	情報化社会
社会教育	地域安全	科学技術
まちづくり	人権擁護・平和	経済活動
観光	国際協力	職業能力開発・雇用機会拡大
文化・芸術・スポーツ	男女共同参画	消費者の保護
環境	子どもの健全育成	市民活動支援
その他		

助成事業計画書

団体名	特定非営利活動法人 臨床検査支援協会
事業名	新宿区民を対象とした健康体験フェアと健康セミナー
① 事業目的・事業概要	<p><事業目的>当会は、国民の健康と医療の発展に貢献することを目的に様々な活動を実施しております。</p> <p>この度、新宿区民の皆様を対象とした健康体験フェアと健康セミナーの開催を企画いたしました。これらのイベントを通しまして、区民の皆様への健康への思いに少しでもお役に立てればと考えております。</p> <p><事業概要>新宿区民の皆様にはまずご自身の健康状態に興味を持っていただくため、健康体験フェアで手軽な非侵襲性検査機器（血液採取不要の触れるだけで測定できる検査機器）により、現在の状態を把握いただく。更に健康セミナーにより医療機関で受ける臨床検査への理解を深めていただき、必要があれば受診に繋がれば良いと考えます。</p>
② 地域課題・社会的課題	<p>新宿区の国民健康保険者の特定健康診査（40歳～74歳）の受診率は令和2年度（29.3%）まで減少傾向にありましたが、令和3年度（32.0%）、令和4年度（34.4%）と2年連続で2ポイント以上、増加しました。</p> <p>出典：第5期 新宿区健康づくり行動計画（本編P.72）</p> <p>なお、東京都全体の令和5年度受診率の43.1%と比べると8.7%ほど低い。</p> <p>出典：令和5年度 市町村国保特定健康診査・特定保健指導実施状況報告（本編P.5）</p> <p>新宿区で健康診断等を毎年受けている割合を、男女年齢2階級別でみると、「毎年受けている」は「男性（20～64歳）」が77.4%と最も高く、次いで「女性（20～64歳）」が68.0%、「男性（65歳以上）」が64.4%、「女性（65歳以上）」が57.1%、と続いている。なお、全体でみると新宿区で「毎年受けている」は68.7%で、東京都区市町村平均の72.7%と比べて低い割合であった。</p> <p>出典：令和2年度 都民の健康や地域とのつながりに関する意識・活動状況調査報告書（本編P.78）</p> <p>また、介護が必要となった主な原因について、性別でみると男性の場合は「脳血管疾患（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血等）」が15.9%と最も高く、次いで「高齢に衰弱」「認知症」の順となっています。女性の場合は「骨折・転倒」が17.7%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」「関節の病気（リウマチ・変形性膝関節症等）」の順となっています。</p>

	<p>出典：第5期 新宿区健康づくり行動計画（本編P.14）</p> <p>新宿区の施策として保健センターで各種検査の事業は実施されていますが、平日のみの事業であり、就労の事情などから平日に保健センターでの当該事業を受けにくい区民の方々も少なからずいる状況が推察されます。</p> <p>また、国は健康寿命の延伸に取り組んで久しいですが、平均寿命との差はなかなか縮まっておりません。このような現状のなかで健診受診率は仕事をリタイアされた方々や家庭に入られている主婦の方々は低率であり、当会の活動が少しでもご自身の健康維持・管理のための気づきとなればと思います。</p>
<p>③ 課題解決のための取組</p>	<p>健康体験フェアでより多くの区民の皆様に、より多くの検査を一度に体験いただくことや健康セミナーで検査の重要性などをお聴きいただくことで健診受診率の向上に繋がるよう取り組んで参ります。</p> <p>この助成事業で区民の健康意識を高め、健康増進にも繋げていけるよう取り組んで参ります。</p> <p>また、課題解決のため継続的に取り組んで参りたいと考えております。</p>
<p>④先駆性・専門性</p>	<p>当会は臨床検査に関わる医師や医療従事者からなる医療専門団体の有志が集まり、2018年に設立。その中心的な役割を果たした渡邊清明前理事長（慶應大学医学部名誉教授）は、臨床検査技能の向上支援、臨床検査の精度向上、医学関連学術講演会の開催、一般市民への臨床検査の普及・啓発など、多岐にわたる事業を展開し、当会を発展させ、2024年4月より宮澤幸久理事長（帝京大学医学部名誉教授）が引継ぎ、更なる飛躍を目指しております。</p> <p>今後は、臨床検査に関する知識や技術の普及活動を、より広範囲に展開すること。最新の検査技術や情報を積極的に取り入れ、情報提供の内容を充実させること。今後の人材育成の強化として若手人材の育成に力を入れ、将来の臨床検査を担う人材を育成すること。災害時などの緊急事態において、臨床検査の専門性を活かした支援活動を行うこと。一般市民向けの啓蒙活動を強化し、臨床検査の重要性をより深く理解してもらうこと。これらにより、社会貢献の推進として地域社会との連携を強化し、地域住民の健康増進に貢献することに繋げていくことを目指してまいります。また、活動を通して国際的な連携を深め、世界の臨床検査の発展に貢献することなどを目指したNPO団体です。</p>

	I イベント（会議）の開催予定等
<p>⑤ 具体的な活動内容</p> <p>(イベントが複数ある場合は、こちらのページを複写して作成してください)</p>	<p>1. イベント（会議）名：(健康体験フェアと健康セミナー)</p> <p>2. 活動内容：健康体験フェアで骨密度、血管年齢、肌年齢、AGEs 検査（老化の原因物質）、認知症関連などの測定を行い（機器は未定）、現状を把握いただく。健康セミナーで講師が各種臨床検査の有用性などについて13時から30分程度1回ご説明する予定です。</p> <p>3. 実施期間、回数：1回/年</p> <p>4. 実施場所：区内地域センター（令和6年度は柏木地域センターと榎町地域センターで実施）</p> <p>5. 周知（募集）方法：区広報誌「広報新宿」への掲載 開催案内チラシの区施設への配布と区直営掲示板への掲示およびHPでの周知 期間：令和7年9月～11月（予定）</p> <p>6. 対象者・定員数：50名</p> <p>7. 人員・スタッフ数 団体構成員（7）名 講師等（ ）名 アルバイト（3）名 ボランティア（ ）名</p> <p>8. 安全対策等：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時が発生した場合に備え会場と非常口の位置を確認し、緊急避難時の手順と経路をスタッフ等へ周知徹底する。 ・事前に会場施設に訪問し、緊急避難時の対策について施設の方へご相談と指示を仰ぎます。 ・会場の出入り口と各測定機器の隣に手指消毒剤を配置し、ご来場の方にご使用いただく。 ・各測定機器で足首や手指などが触れた箇所を測定の都度にアルコールで清拭する。 ・スタッフ等は手指消毒を励行し、マスクを着用する。

	<p>II イベント（会議）の開催予定等</p> <p>1. イベント（会議）名：（ ）</p> <p>2. 活動内容：</p> <p>3. 実施期間、回数：</p> <p>4. 実施場所：</p> <p>5. 周知（募集）方法、期間：</p> <p>6. 対象者・定員数：</p> <p>7. 人員・スタッフ数 団体構成員（ ）名 講師等（ ）名 アルバイト（ ）名 ボランティア（ ）名</p> <p>8. 安全対策等：</p>
<p>⑥ 期待される効果</p>	<p>ア 区民や地域社会への成果・効果</p> <p>区民の皆様に参加していただき、まずは健康体験フェアの簡易検査と健康セミナーでご自身の現在の状態を把握していただき、健康に対し興味を持っていただくきっかけとなることが期待できます。この体験が今後の健診受診率向上にも繋がり、結果的に医療費削減にも繋がるものと思います。</p> <p>イ 現状や課題に対する成果・効果</p>

	<p>保健センターでの各種検査の事業を平日に受けられない区民の皆様は土曜日や日曜日にも体験いただけることにより、より多くの皆様への検査の機会拡大に貢献できるものと考えております。</p> <p>また、健康体験フェアで骨密度測定検査などを体験いただくことにより、日頃の健康管理への意識が向上し、要支援・要介護認定者及び給付金の増加が少しでも抑えられる効果に繋がることが期待されます。</p> <p>令和6年度に開催した同じ地域センターで継続的に開催することにより更なる成果と効果に繋がるものと考えております。</p>
<p>⑦ 今後の展望</p>	<p>来年度以降も当会の事業目的を遂行するため事業活動を展開して参ります。この事業活動の維持と向上のため、会員ならびに賛助企業を拡大し事業の自己予算の確保を推進いたします。</p> <p>各助成金の活用で事業活動の地域を中野区から隣接の新宿区へ拡大しております。新宿区では令和6年度に実施した助成事業を令和7年度以降に継続的に開催することで、より多くの区民の皆様の健康増進に貢献して参ります。</p>

<p>⑧ 過去にこの助成を受けた実績</p>	<p>助成年度（令和6年度） 事業名（新宿区民を対象とした健康体験フェアと健康セミナーを2回実施）</p> <hr/> <p>助成年度（ ） 事業名（ ）</p> <hr/> <p>助成年度（ ） 事業名（ ）</p>
<p>⑨ この事業に対する他の助成の有無（申請中のものを含む）</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <hr/> <p>有の場合は、助成名称（団体）及び助成額 助成名（団体名）： 助成額： <small>※新宿区の他の助成制度からの助成が決定した場合には、本助成金は受けられません。新宿区以外の団体からの助成金がある場合には、その金額を差し引いた額が本助成額になります。本助成金への申請後に、同事業で新宿区外の補助金へ申請される際は、必ずご相談ください。</small></p>

収支予算書

2回目用

費 目		予 算 額	内 訳
支 出 区 分	①使用料及び賃借料	240,100 円	柏木地域センター多目的ホール（午前1回、午後2回）2,300円×3回=6,900円 昨年度に実施した地域センターの料金を参考にしました。 測定機器レンタル料 (70,400円+53,900円+55,000円+53,900円) × 1日=233,200円
	②消耗品及び印刷費	4,929 円	チラシ印刷（A4片面カラー） 約8.96円×500枚×1.1=4,929円
	③委託費	円	
	④講師謝礼	円	
	⑤その他謝礼	円	
	⑥交通費	15,000 円	1,500円×10人×1日=15,000円
	⑦保険料	円	
	⑧その他諸経費	円	
	⑨感染症等対策経費	14,464 円	※上限額2万円以内 (20,000) 手指消毒剤代1,375円×7本=9,625円 除菌クロス720円×5個=3,600円 マスク代1,239円
	⑩人件費	84,000 円	※下記「事業費」の25%以内 (91,497) (団体構成員分) 時給1,200円×7時間×7人×1日=58,800円 (アルバイト分) 時給1,200円×7時間×3×1日=25,200円
事業費（①から⑩の合計）		358,493 円	
⑪ファンドレイジングに関する経費		円	※事業費の5%以内 (17,924)
⑫助成対象経費 （事業費+⑪）		358,493 円	
⑬助成対象外経費		円	
事業総額		358,493 円	

内 容		予 算 額	積算根拠（内訳）
収 入 区 分	㉞ 事業収入 （参加料、資料代等）	25,000 円	参加料 500円×50名×1日=25,000円
	① 寄附金	円	
	㉟ 補助金等収入	円	
	㊱ 協働推進基金助成金	186,000 円	「①～⑨、⑪～⑬の合計」の1/2と「⑩」の合計 ※千円未満切り捨て
	㊲ 団体負担金	147,493 円	
収入総額		358,493 円	